

〔令和7年度事務事業〕

Ⅱ．事業目的の達成状況								
事業の成果や活動実績の測定								
11	定性的な成果目標							
	区の基本計画の実現に沿った政策効果を発揮							
	当該目標を設定した理由	区域まちづくり事業の実施により区の政策効果を向上させるため。						
	目標に対する実績	—						
12	活動指標	単位		実績		目標		
				令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	区民ニーズや区域の実情を踏まえた区域まちづくり事業の実施	—	目標値	—	—	—		
			実績値	—	—	—		
			達成率	—	—	—		
	当該指標を選定した理由	区民にもっとも身近な行政機関として、区役所が主体的となって区域の実情に応じた事業を実施。						
	目標値の設定根拠・算出方法	—						

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	区域まちづくり事業（西区）	事業番号	214-002
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。(単位：千円)

	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
		決算		決算		当初予算		当初予算			
13	事業費 (a)	23,630		21,741		30,893		21,698		32,724	
	財源内訳	国支出金	0		0		0		0		0
		府支出金	0		0		0		0		0
		市債	0		0		0		0		0
		その他 ()	0		0		0		0		0
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0		0		0
		一般財源	23,630		21,741		30,893		21,698		32,724
14	人件費 (b)	24,300		24,300		25,200		25,200		26,100	
15	年間経費 (c)=(a)+(b)	47,930		46,041		56,093		46,898		58,824	

事業費の内訳

(単位：千円)

	事業費内訳	項 目		年度		事業費	うち一般財源	項 目		年度		事業費	うち一般財源
16	事業費内訳	報償費	R7	決算	1,683	1,683	工事請負費	R7	決算	0	0		
			R8	予算	2,020	2,020		R8	予算	1,000	1,000		
		需用費	R7	決算	5,047	5,047	備品購入費	R7	決算	914	914		
			R8	予算	6,821	6,821		R8	予算	3,100	3,100		
		役務費	R7	決算	434	434	負担金、補助及び交付金	R7	決算	9,266	9,266		
			R8	予算	799	799		R8	予算	11,571	11,571		
		委託料	R7	決算	3,700	3,700	旅費	R7	決算	34	34		
			R8	予算	5,980	5,980		R8	予算	0	0		
		使用料及び賃借料	R7	決算	620	620		R7	決算				
			R8	予算	1,433	1,433		R8	予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費					
17		区 分	単位	令和6年度	令和7年度
	①	投入コストに対して想定どおりの効果又は想定を超える効果があった事業数	件	18	18
	②	上記①にかかる年間経費	千円	46,041	46,898
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	2,557,833	2,605,444
算出についての説明等		区域まちづくり事業の費用対効果を図る評価項目（区ホームページで進捗確認シートを公開）をもとに算出			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見		
18	西区の特性をいかした魅力ある取組などを区役所と区民が協働で開催することにより地域のニーズに沿った事業を展開できた。 また、SNSなどのツールを利用することによりコストを抑え、西区の魅力を発信することができた。 令和7年度は、父親の育児に関する知識の取得を支援するとともに、育児や仕事などのストレスによる健康障害を防止する啓発を行い子育て環境を支援した。	
	KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	事業の企画、立案から実施にいたるまで地域の方々が主体的にかかわることで、区民のニーズや実情を把握することができ、「西区ふれあいまつり」や「西区のまつり」を活かしたコミュニティの活性化事業など区域の特性をいかした魅力ある事業を実施できた。 これらの事業は、「西区みらい指針」のめざす将来像及び3つの取組の方向性「1.まちの資源をつないで活かす」「2.安全・安心のまちをみんなで創る」「3.みんなで支え合い“地域の子”を育む」の実現に寄与している。	
20	令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）	
	必要性 ■ 高い □ 低い 有効性 ■ 高い □ 低い	本事業は「西区みらい指針」に掲げる将来像及び3つの取組の方向性に沿って実施し、西区の特色や区民ニーズに沿った事業展開となっている。区役所と区民が協働で実施することで、地域との連携強化にも寄与している。令和8年度以降も「堺市西区基本計画 みらいキャンパス～ともに描く西区の未来～」に掲げるめざす将来像を実現するために継続して実施する必要がある。